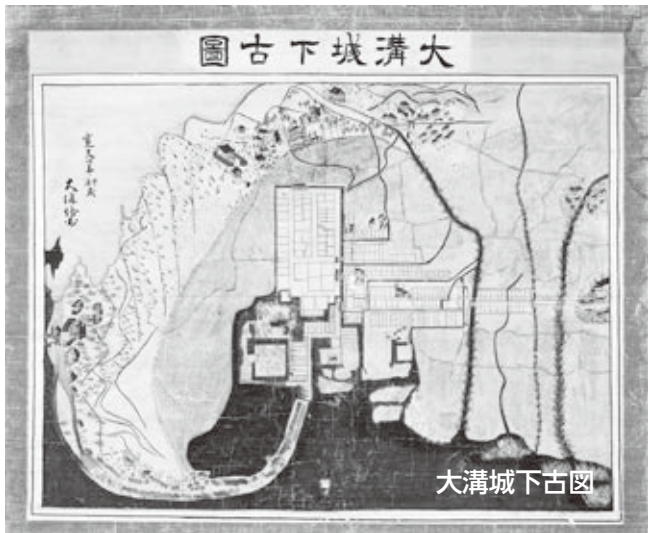


おのみぞはん 大溝藩と分部氏

大溝城の誕生

高島市の南東部に位置する大溝地域の歴史は、奈良時代までさかのぼることができません。奈良時代を中心にとめられた万葉集の歌にあるように高島・大溝の地は、都と北陸を結ぶ陸路と湖路の要衝として発展しました。

戦国時代の終わりごろ、今から約440年前、江北の武将磯野員昌が高島へ進出し新庄に城



大溝城下古図

を構え、信長の甥にあたる織田信澄を養子に迎えました。

信澄は天正6年（1578年）明智光秀の設計をもとに新たに大溝に新しい城を築城します。この城は、天守閣を持つ近世城郭の幕開きを知らせる構造の城です。まさに近世の始まりを高島に伝え城下には郡内の商人や職人たちが集住してきます。その名残として今も南市本町・新庄本町・今市本町・南市中町・新庄中町・今市中町・今市新町・新庄新町の町名が伝えられています。

分部氏の入封

しかし、信澄の死後、大溝城主は代々入れ替わり、江戸時代の元和5年（1619年）には、伊勢上野（三重県津市）城主分部光信が大溝藩2万石の藩主として、家臣45人と上野城下の職人を伴い入封します。

大溝藩は、高島郡内32ヶ村・野洲郡内5ヶ村（他領

秋季特別展「大溝藩と分部氏」

～城下町の400年～

- ▶開催期間 11月3日（土）～25日（日）
- ▶開館時間 9時～16時30分
- ▶開催場所 藤樹の里文化芸術会館 展示室1
- ▶休館日 月曜日
- ▶料 金 入場無料

特別展関連講演会「大溝藩と分部氏」

～城下町のくらしと大溝祭～

- ▼開催日 11月25日（日）
- ▼時間 13時30分～16時15分
- ▼場所 藤樹の里文化芸術会館 ホール
- ▼内容 講演1「城下町の形成と大溝藩」
八杉 淳氏（草津市立草津宿街道交流館長）
講演2「大溝祭と町人文化」
木津 勝氏（大津市歴史博物館 学芸員）
よもやま話「一期一会 大溝から学んだこと」
白井 忠雄（高島歴史民俗資料館 学芸員）

▼資料代 200円

▼参加申し込み・問い合わせ

高島歴史民俗資料館 ☎（36）1553
 FAX（36）1554 ✉shiryu@city.takashima.lg.jp
 ※10月3日（水）から受付開始

入組を含める）を治め、明治維新までの約250年間藩制を敷き、政治・文化・経済の発展に努めました。

来年は、大溝の地に分部氏が入封して以来400年の節目の年となります。その大溝藩と分部家を概観できる特別展と講演会を11月に藤樹の里文化芸術会館で開催します。ぜひご来場ください。

高島歴史民俗資料館

☎（36）1553

編集雑感

9月4日に台風21号によって今までにない暴風が高島市を襲い、甚大な被害と広範囲で長期に渡る停電が市内で発生しました。被害に遭われた皆様へお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧を願っています。

今月号の広報たかしまでは、誌面作成中の災害であったことから急遽記事の差し替えを行い、台風による被害状況と支援体制を6～7ページに掲載しています。ぜひご覧いただき、情報共有をしていただきますとともに、今後の防災対策の参考とさせていただければと思います。（H）



広報たかしま

平成30年

10

月号

No.225

発行▼高島市

編集▼政策部企画広報課

〒510-1502 滋賀県高島市新旭町北畑5の5番地

☎0740(25)8000(代)
 http://www.city.takashima.lg.jp
 ✉t-info@city.takashima.lg.jp